

第20回総務企画専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和6年(2024年)2月7日(水) 14:00~14:45

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-A会議室

3 出席委員（五十音順、敬称略）

赤尾 優文 委員、明石 芳夫 委員、猪飼 隆幸 委員、石河 康久 委員
犬井 義夫 委員（代理出席：伊崎 直人 氏）、太田 千恵子 委員
嘉悦 和子 委員、門 久仁裕 委員長、雲根 ひとみ 委員
田中 勇人 委員（代理出席：浪江 尚史氏）、廣部 千英子 委員
松永 敬子 委員（Web）（委員定数15名中12名出席）
（欠席委員：西島 義典 委員、樋口 啓子 委員、廣瀬 年昭 副委員長）
その他事務局職員

4 会議概要

【報告事項】

(1) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 正式競技競技会場名の変更について

【質疑】なし

(2) わたSHIGA輝く国スポ デモンストレーションスポーツ実施競技名の変更について

【質疑】なし

(3) わたSHIGA輝く国スポ デモンストレーションスポーツ主管団体名の変更について

【質疑】なし

【審議事項】

(1) わたSHIGA輝く国スポ 大会役員編成基準（案）

・案のとおり承認された

(2) わたSHIGA輝く国スポ 特別招待者の範囲（案）

・案のとおり承認された

(3)わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 総合リハーサルの実施日 (案)

- ・案のとおり承認された

(4)わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 総合案内所基本計画 (案)

<委員>

設置予定の駅がいくつかあるが、駅のどこに設置されているか、また、どの程度の広さがあるのか等、今の段階でわかっていることがあれば教えて欲しい。

<事務局>

設置場所としての検討箇所は、米原駅と彦根駅を想定している。具体的な設置場所や広さについては、駅の管理者である JR 西日本や市と協力しての運営になるため、調整を現在進めているところ。

<委員>

障スポについて、彦根駅・米原駅・開閉会式会場・各競技会場とあるが、特に各競技会場は公共交通機関を利用したアクセスが難しい場所も多い。各競技会場へのアクセス方法について、考えていることはあるか。

<事務局>

米原駅等以外で個別に利用される駅で設置する必要があるかという検討を含め、調整していきたいと考えている。

<委員>

観客が見たい競技について、場所がわからないということがないように、案内所でなくともわかるよう調整いただければと思う。

【審議事項以外の関連質問】

<委員>

両大会への参加者の交通手段について、京都経由で滋賀に来られる方も多いと考えている。特に、湖西線と琵琶湖線の乗車について誤りがないよう案内していただきたいが、準備等は進んでいるか。

<事務局>

委員御指摘のとおり、新幹線で来県される方々は京都駅を利用されることを

想定しており、その方々の乗車間違いがないよう誘導する方法については、案内所の設置も含め、輸送交通部門と連携を図りながら対策を実施したいと考えている。

- ・案のとおり承認された

(5)わたSHIGA輝く国スポ 公開競技競技会場の変更 (案)

- ・案のとおり承認された

(6)わたSHIGA輝く国スポ デモンストレーションスポーツ実施競技選択および会場地市第五次内定 (案)

- ・案のとおり承認された

(7)わたSHIGA輝く国スポ 競技施設基準の改正 (案)

- ・案のとおり承認された

(8)わたSHIGA輝く国スポ 競技施設整備計画 (第6次) (案)

【審議事項以外の関連質問】

<委員>

設備整備に関して、総合案内所に関連する内容となるが、授乳室等がないことが非常に気になった。支援の手を差し伸べる方策等はないか。

鹿児島国体では、施設内にテント型の授乳室を設けている会場もあった。

また、この会議で何度か発言させていただいているが、トイレなど、バリアフリーの整備についてはどの程度進んでいるのか。

<事務局>

トイレの整備等、バリアフリーにかかる整備については、原則2分の1で補助している。施設整備計画では7施設について、バリアフリー化を実施しているが、それ以外の施設については、すでにバリアフリー化が完了しているかどうかといった点までは、把握できていない状況。中には、常設でのトイレ改修が難しいため、仮設トイレを設置する等の計画をされている市町もあり、施設整備の補助金とは別に運営費交付金での支援を予定しているところ。

<事務局>

国スポ・障スポ両大会において、カームダウンスペース（外部の視線や音を遮断し気持ちを落ち着かせるスペース）の設置を検討している。国スポにおいても、設置いただけないか調整している。御指摘のあった授乳室は、このカームダウンスペースを代用することも考えられるので引き続き調整していきたい。

<委員>

鹿児島大会を視察に行っていたが、競技会場2階の観客席トイレはすべて和式トイレで、利用者が非常に困られていた。1階には洋式トイレがあったが、観客が利用できる動線になく、利用者に配慮されている状況ではなかった。

滋賀県においては、調査等を行っていただき、和式トイレしかないという状況を避けていただきたい。また、必要に応じて市町をサポートいただきたい。

栃木国体でも車いす利用できるトイレはあるが間口が狭く、ぎりぎり車いすが通る状況であったと聞いている。

準備の中で、市町等へも適切な助言を行っていただきたい。

<事務局>

国スポ開催に向け、市町でも様々な改修を行っていただいている中、トイレについても配慮いただいていると考えている。

バリアフリー調査においても、対応したトイレがあるのか、設置の必要性があるのかということについては確認をすることとなっている。

国スポにも当然様々な方に来場いただくことを考えているので、御指摘いただいた視点でもう一度各市町を含め確認したいと考えている。

・案のとおり承認された

以 上